

needs 介護施設事業者が安心・安全なケアサービスを提供し、かつ介護現場職員の業務負担を軽減したい

高齢者の活動状況や睡眠状態を常時モニタリングし、離れた場所からの見守りを支援する

会社概要
 会社名 : パナソニック株式会社
 事業内容 : 部品から家庭用電子機器、電化製品、FA 機器、情報通信機器、および住宅関連機器等に至るまでの生産、販売、サービスを行う総合エレクトロニクスメーカー
 従業員数 : 274,143 名
 所在地 : 大阪府門真市大字門真 1006

【お問い合わせ先】
 ビジネスイノベーション本部
 スマートエイジングケアプロジェクト
 E-mail : hospi@ml.jp.panasonic.com

背景

- ・ 要介護高齢者の増加（2025 年問題）
 - 今後、介護を必要とする高齢者が急増と予測される。
 - 自立支援や重度化予防を進める必要がある。
- ・ 介護業界における人材不足が深刻化
 - 巡回等の夜間の業務負担が大きい。
 - 新人に知識を伝えられる職員が少ない。

IoT を活用した課題解決の内容

IoT 機器と AI データ分析で切れ目のない見守りを提供

- ・ 非接触センサーのデータから、高齢者ごとのいつもの様子を AI が学習し、変化をお知らせ。忙しい職員に変わり、24 時間 365 日切れ目のない情報収集で、見守り業務をサポート。
- ・ それにより、介護施設事業者のサービスの質向上と業務負担軽減を実現。

・ 検討・開発期間 : 約 2 年
 ・ 開発者 : 自社
 ・ 開発コスト : 非公開

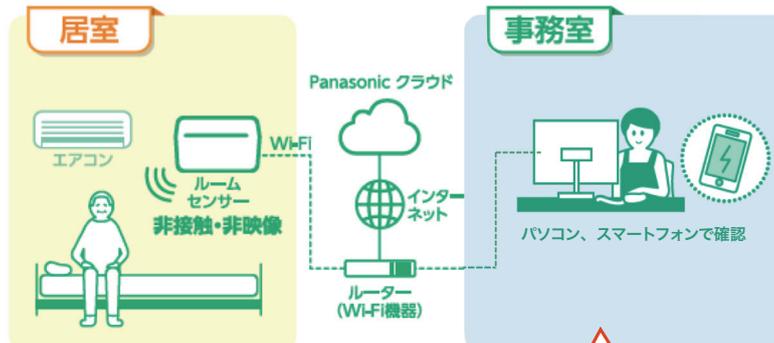
課題

- ・ 介護業界における人材不足が深刻化し、巡回等の夜間の業務負担の増大、知識・ノウハウの伝承が困難。
- ・ 十分な人員配置ができないままでのケアや安全管理が行われている場合がある。

解決方法

- ・ 非接触センサーにより、サービス利用者の活動状況や睡眠状態を可視化。
- ・ AI を活用しセンサーデータを分析することで、サービス利用者ごとのパターンを把握し、変化を早期に見つけて職員へ通知。

特徴



【居室を訪問せずに確認できること】

- ① 安否確認 : 入居者の夜間の身体の動きを捉え、状況を把握。
- ② 睡眠リズム把握 : 目視では把握が難しい睡眠傾向を可視化。
- ③ 空調管理 : 全部屋の室温を事務室で把握、遠隔操作によるエアコンの入切操作が可能。

いずれも現場職員が居室を巡視せずに確認可能ため、入居者の夜間睡眠を妨げない。

導入成果

- ・ 継続的に睡眠状況を把握することで、サービス利用者ごとの適切なケアプランの作成が可能になった。
- ・ 居室を訪問する頻度、睡眠状況や室温確認等現場確認作業が減少することで、現場職員の業務負担が軽減。

【例: エイジフリーハウス茨木総持寺(導入先)での成果】

- ・ 夜間の巡視・記録時間の軽減 (1 日あたり 118 分) を実現。
- ・ 巡視時間の軽減により、利用者と接する心のゆとりと、時間の確保が可能になった。

成功したポイント

- ・ パナソニックのスマート家電 (インターネット接続機能を持つエアコン) の技術を応用していること。
- ・ グループ内の介護事業会社 (パナソニックエイジフリー (株)) での実証を通じ、現場の生の声を早期に取り入れられたこと。

今後の展開予定

- ・ 介護事業者様向け事業 (施設事業) としては、見守りセンサーデータを機軸に、介護記録データやナースコールデータを統合した介護業務支援ツールへ進化するべく、AMED※1「ロボット介護機器開発・標準化事業」の一環として開発を進めている。
- ・ さらに、今後は、これら IoT 機器と AI データ分析のノウハウを、在宅高齢者の暮らしを支える事業へ拡大していく。

※1 AMED (国立研究開発法人日本医療研究開発機構) :

医療分野の研究開発およびその環境整備の実施・助成について中核的な役割を担う機関として、2015 年 4 月に創設された、内閣府所管の国立研究開発法人。